

多久市で初開催! 多久市&小城市 肝がん・糖尿病予防講演会

死亡率の高い「肝がん」と生活習慣病である「糖尿病」についての予防講演会を多久市で開催します。この講演会をきっかけに、日頃の生活習慣を見直してみたいかがですか?

最新の肝がん治療のことや、自覚症状が少ない糖尿病について、詳しく学びます。

■日時 2月28日(土)

13時20分～16時

(12時45分 開場)

■場所 多久市中央公民館

■参加費 無料

【一部】13時30分～14時

「肝炎の最新治療 新薬登場」

～忙しい、時間がない、

それでも治せます!～

岩根紳治医師 (佐賀大学医学

部附属病院肝疾患センター)



【二部】14時～14時50分

「知らないうちに忍びよる糖尿病」

山口美幸医師 (佐賀大学医学部附属

病院)



【個別相談コーナー】 15時～16時

医師 (内科・歯科・眼科)、薬剤師、

栄養士、看護師など、糖尿病や肝臓

病に詳しいスタッフが個別に相談に

応じます。

【体験コーナー】 15時～16時

・見てみようー私の足

・量ってみようー私のご飯



風しん予防接種 助成申請を受付中

大人の予防
接種助成

「先天性風しん症候群」の発生を予防し、女性が将来安心して妊娠・出産できるように、妊娠を予定または希望している人等に風しんの予防接種費用を助成しています。

【接種費用助成対象者】

多久市民で、①②に該当する人

①妊娠を予定または希望する女性
(将来に備えて予防接種を希望する女性を含む)

②H1法で抗体価が16倍以下の妊婦の同居者

※予防接種履歴等により対象にならない場合があります。

【接種の流れ】

①市役所健康増進課で申請する
(予診票・接種済証・注意事項を渡します)

②県内の実施医療機関へ予約
(1週間前までに)

③接種後、接種済証をもらい、保管しておく



子どもによる医薬品の誤飲事故が増えています

子どもによる大人用医薬品の誤飲事故が増加傾向にある一方で、誤飲事故を知らない保護者が多いことが指摘されています。

医薬品を誤飲すると、場合によっては入院を要するような重篤な健康被害を生じるおそれがあります。向精神薬、気管支拡張剤、血圧降下剤はリスクが高いとされています。子どものいる家庭で医薬品を保管する際の注意点や、誤飲事故が発生した際の対処についてお知らせします。

家庭での医薬品や処方薬 保管のポイント

- 子どもの手の届かない、見えない所に保管しましょう。
- 保管する場合には、鍵のかかる場所に置く、取り出しにくい容器に入れるなど、複数の対策を講じましょう。



子どもが医薬品を誤飲した際の相談機関

公益財団法人日本中毒情報センター

中毒110番・電話サービス

・大阪 ☎072-727-2499 (365日24時間対応)

・つくば ☎029-852-9999 (365日9時～21時対応)

※ともに情報提供料無料、通話料のみ